



谷 義樹

人口減少問題への対応について

**問** 能勢町の将来人口予想は。

**答** 府内で最も人口減少率が高く、10年後には1万人程度と予測される。

**問** その中で、どういう町づくりを進めるのか。

**答** 人口をただ増やすだけでなく、例えば妊婦健康診査や子供の医療費の負担軽減など、若年層が安心して子供を産み、育てることができると環境づくりをめざしている。

平成23年度町政運営方針での「地域自立」の考えについて

**問** 具体的にどのような取り組みでいくのか。

**答** 本町は、自らの地域は自ら治めるという理念を自治区が継承している。各施策の方向性を検討する際にも、議会はもとより自治区との連携を密にして取り組んでいく。

- 一、人口減少問題への対応について
- 二、平成23年度町政運営方針での、「地域自立」の考えについて
- 三、農業振興調査研究事業について

**問** 能勢町住民自治基本条例を制定してはどうか。

**答** 今後数々の議論を行って行きたい。

農業振興調査研究事業について

**問** 具体内容は。

**答** 生産では、特に土地利用型の農業を中心に、花から野菜までを入れた農協にかわるような、それに後継者、遊休農地も含めた受委託、それから販売まで…。そういうことを目指している。

**問** 三ヶ月近く経ったが、具体的な中身が見えてこない。現在の進捗状況は。

**答** 今までは、組織をつくっても目的がなかった。今回は目的を持ち、しっかり推し進めていく。

**問** 町長の意向を受け、担当部長はどのように考えているか。

**答** 運営組織体をどうやっていくかということに主眼をおいている。



**問** まとめは、いつ頃上がるのか。

**答** 年度内ということになる。

**問** 農業は一年周期で動いている、そんなペースでは話にならない。能勢の農業を何とかしようという気持ち、本当にお持ちか。

**答** そういう気持ちだが、それに対してはそれ相応の、やはり時間がかかるステップを踏んでいきたい。

## 一般質問



木戸 俊治

火葬場建設と今後の町財政について

**問** 町営火葬場については、杉原区のご理解、協力により運営されている。今般新たな火葬場を、平成26年度に完成との建設計画が示された。今後能勢学校新構想、高齢化による社会保障費の増加等財政負担が増す中で、火葬場建設に伴う町財政の影響について伺う。

**答** 本町の財政状況は、町税収入の減少等、今後は更に厳しい状況を迎えるものと思われる。しかし、教育環境の整備、火葬場やし尿処理施設、下水道等生活基盤の整備は財源を捻出し、取組んでいくのが政治であり施策であると考えている。

**問** 火葬場建設費の概要とランニングコストについてはどうか。また現火葬場の将来的な利用、更に、豊能町と一緒に取組む可能性について伺う。

- 一、火葬場建設と今後の町財政について
- 二、農業振興調査研究事業について

**答** 平成18年度に作成した基本計画において一定の事業費を計上している。ランニングコストについても今後十分精査しローコストで運営したい。その際、杉原区の火葬場は解体し、新たな火葬場を整備し実施していくものと考えている。

また、豊能町と取組む可能性については、全くありません。町財政が最悪の状態の場合、火葬場に6億数千万、その上に学校42億ということになれば、計算上将来赤字になるという見込みは考えられる。歳出をどのようにコントロールしていくか、赤字再建団体にならないように運営するのが私どもの務めであると考えている。

**問** 候補地の用地の買収についてはどうか。

**答** 買収出来るのがベストであるが、賃貸での希望も聞いており、地元の意向を最大限酌むことも大事と考えている。また運営形態等地元の皆様と協議を重ねながら決めていくべきものと考えている。

農業振興調査研究事業について

**問** 本町の農業の現状を分析し、大きな構想、目標をもって取組むとのことであるが、その点について伺う。

**答** 農業者が高齢化し、また後継者の問題もある。安心して田んぼが預けられるような町が関与した組織を考えたい。マネジメントの出来る強烈なリーダーが必要であり、しっかりと目的をもってやりたい。期待していただいていると思う。